



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 相馬 信義
 (氏名) 岩田 穂

TEL 03-3212-7021

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	111,602	△8.3	501	△62.2	△540	—	△3,152	—
23年3月期第3四半期	121,698	23.6	1,325	166.8	△147	—	92	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △2,224百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △2,402百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	△7.80	—
23年3月期第3四半期	0.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	190,940	45,381	22.9
23年3月期	196,234	47,622	23.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 43,796百万円 23年3月期 45,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	155,000	△6.4	1,300	△53.9	0	△100.0	△3,000	—	△7.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年2月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	404,455,680 株	23年3月期	404,455,680 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	309,935 株	23年3月期	306,068 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	404,148,200 株	23年3月期3Q	404,154,915 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
平成24年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～12月31日）における我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに景気が持ち直しつつありますが、欧州債務危機を背景とする円高が進行するなど、先行き予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は金属部門、電子部門で対前年同期比減収となり1,116億2百万円（対前年同期比100億96百万円減）となりました。営業利益は産業機械、開発機械、ユニックの各部門の採算が好転しましたが、金属部門および電子部門では減収により対前年同期比減益となり5億1百万円（対前年同期比8億24百万円減）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業損益の状況は以下の通りであります。

産業機械部門では、鋼構造物、一般機械およびポンプの売上が伸び、売上高は78億24百万円（対前年同期比8億18百万円増）、営業利益は19百万円（前年同期は3億24百万円の損失）となりました。

開発機械部門では、国内は復興需要によりブレーカおよび圧砕機の売上が伸び、海外はアジアおよび北米向けが好調でしたが、円高を背景に厳しい価格競争が依然続いております。売上高は180億44百万円（対前年同期比4億7百万円増）、営業利益は39百万円（前年同期は4億26百万円の損失）となりました。

ユニック部門では、トラック生産の回復や復興需要もあって国内向けが伸び、売上高は113億83百万円（対前年同期比21億58百万円増）、営業利益は4億84百万円（前年同期は2億59百万円の損失）となりました。

産業機械、開発機械、ユニックの機械3部門合計の売上高は372億52百万円（対前年同期比33億84百万円増）、営業利益は5億43百万円（前年同期は10億10百万円の損失）となりました。

金属部門では、電気銅および電気金の主に販売数量減に伴う減収により、売上高は473億78百万円（対前年同期比114億36百万円減）、営業利益は33百万円（対前年同期比7億12百万円減）となりました。

電子部門では、主として高純度金属元素および結晶製品が原発事故の影響や市況の低迷等により大きく落ち込み、売上高は35億91百万円（対前年同期比20億76百万円減）、営業損失は99百万円（前年同期は10億72百万円の利益）となりました。

化成品部門の売上高は39億30百万円（対前年同期比1億27百万円増）、営業利益は1億87百万円（対前年同期比2百万円増）となりました。

塗料部門では、震災の影響により減収となり、売上高は110億73百万円（対前年同期比1億94百万円減）、営業損失は2億89百万円（対前年同期比2億49百万円の損失増）となりました。

不動産部門の売上高は9億38百万円（対前年同期比3億21百万円減）、営業利益は2億77百万円（対前年同期比2億48百万円減）となりました。

燃料部門の売上高は68億60百万円（対前年同期比4億36百万円増）、営業損失は25百万円（対前年同期比13百万円の損失減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の経常損失は5億40百万円（対前年同期比3億93百万円の損失増）となり、特別損失に投資有価証券評価損41億69百万円他を計上した結果、四半期純損失は31億52百万円（前年同期は92百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,909億40百万円で、前連結会計年度末に比べ52億94百万円減少しました。これは主として現金及び預金、投資有価証券の減によるものであります。有利子負債は887億14百万円で前連結会計年度末に比べ5億50百万円減少しました。純資産は453億81百万円で、前連結会計年度末に比べ22億40百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、前回（平成23年11月4日）発表の業績予想における前提は第4四半期で銅価を7,500米ドル/トンとしておりましたが、直近の状況を考慮し、8,000米ドル/トンに変更いたしました。その結果、金属部門では前回発表予想より増収となりますが、電子部門および開発機械部門が減収となり、売上高を前回発表予想より下方修正いたしました。また、電子部門の減収等に伴い、営業利益、経常利益を下方修正いたしました。第3四半期に投資有価証券評価損が発生いたしました。また、税制改正に伴い、税金費用を見直した結果、当期純利益は前回発表通りといたしました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,268	14,348
受取手形及び売掛金	25,197	25,912
有価証券	5	0
商品及び製品	11,217	12,173
仕掛品	5,182	6,776
原材料及び貯蔵品	13,262	12,257
その他	9,237	8,903
貸倒引当金	△172	△160
流動資産合計	80,199	80,212
固定資産		
有形固定資産		
土地	59,073	58,651
その他(純額)	26,584	25,967
有形固定資産合計	85,657	84,619
無形固定資産		
のれん	598	477
その他	238	221
無形固定資産合計	836	698
投資その他の資産		
投資有価証券	24,605	21,331
その他	6,759	5,849
貸倒引当金	△1,825	△1,771
投資その他の資産合計	29,540	25,409
固定資産合計	116,035	110,727
資産合計	196,234	190,940
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,652	22,530
短期借入金	30,010	31,298
未払法人税等	438	233
引当金	288	207
その他	16,066	16,421
流動負債合計	70,456	70,692
固定負債		
長期借入金	59,254	57,415
引当金	1,821	1,896
資産除去債務	191	195
その他	16,888	15,358
固定負債合計	78,156	74,866
負債合計	148,612	145,558

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	17,309	14,212
自己株式	△45	△46
株主資本合計	45,472	42,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	293	1,263
繰延ヘッジ損益	△109	31
土地再評価差額金	3,288	3,518
為替換算調整勘定	△3,096	△3,391
その他の包括利益累計額合計	376	1,421
新株予約権	53	53
少数株主持分	1,720	1,532
純資産合計	47,622	45,381
負債純資産合計	196,234	190,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	121,698	111,602
売上原価	108,011	98,131
売上総利益	13,687	13,471
販売費及び一般管理費	12,361	12,970
営業利益	1,325	501
営業外収益		
受取配当金	439	343
その他	378	560
営業外収益合計	817	904
営業外費用		
支払利息	1,178	1,058
休鉱山管理費	436	459
その他	675	427
営業外費用合計	2,290	1,945
経常損失(△)	△147	△540
特別利益		
固定資産売却益	72	8
負ののれん発生益	—	8
保険差益	4	5
事業譲渡益	135	—
その他	46	2
特別利益合計	258	26
特別損失		
投資有価証券評価損	180	4,169
その他	449	307
特別損失合計	629	4,477
税金等調整前四半期純損失(△)	△518	△4,991
法人税、住民税及び事業税	323	256
法人税等調整額	△790	△1,914
法人税等合計	△467	△1,658
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△51	△3,333
少数株主損失(△)	△143	△181
四半期純利益又は四半期純損失(△)	92	△3,152

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△51	△3,333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,705	985
繰延ヘッジ損益	114	115
土地再評価差額金	—	294
為替換算調整勘定	△576	△120
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	△167
その他の包括利益合計	△2,351	1,109
四半期包括利益	△2,402	△2,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,255	△2,052
少数株主に係る四半期包括利益	△147	△171

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	7,005	17,637	9,224	58,814	5,667	3,803	11,267
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,177	12	44	480	48	612	17
計	8,182	17,649	9,269	59,295	5,715	4,415	11,285
セグメント利益又は損失 (△)	△324	△426	△259	746	1,072	184	△39

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,260	6,424	121,105	593	121,698	—	121,698
セグメント間の 内部売上高又は振替高	110	223	2,727	965	3,693	△3,693	—
計	1,371	6,647	123,832	1,559	125,391	△3,693	121,698
セグメント利益又は損失 (△)	526	△39	1,439	△71	1,367	△41	1,325

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去8百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						
	産業機械	開発機械	ユニック	金属	電子	化成品	塗料
売上高							
外部顧客への売上高	7,824	18,044	11,383	47,378	3,591	3,930	11,073
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,271	24	52	413	6	660	22
計	9,095	18,069	11,435	47,791	3,597	4,590	11,096
セグメント利益又は損失 (△)	19	39	484	33	△99	187	△289

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	燃料	計				
売上高							
外部顧客への売上高	938	6,860	111,025	576	111,602	—	111,602
セグメント間の 内部売上高又は振替高	99	253	2,804	983	3,787	△3,787	—
計	1,038	7,114	113,829	1,560	115,390	△3,787	111,602
セグメント利益又は損失 (△)	277	△25	627	△81	545	△44	501

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△44百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

金属前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第3四半期累計決算 \$/mt	8,544	908
	年度予想 \$/mt	8,408	269
為替	第3四半期累計決算 円/\$	79.0	△ 7.8
	年度予想 円/\$	78.2	△ 7.5

平成24年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2012年2月6日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨)

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	33,867	37,252	3,384
（産業機械）	(7,005)	(7,824)	(818)
（開発機械）	(17,637)	(18,044)	(407)
（ユニック）	(9,224)	(11,383)	(2,158)
金属部門	58,814	47,378	△ 11,436
電子部門	5,667	3,591	△ 2,076
化成品部門	3,803	3,930	127
塗料部門	11,267	11,073	△ 194
不動産部門	1,260	938	△ 321
燃料部門	6,424	6,860	436
その他	593	576	△ 16
【合計】	121,698	111,602	△ 10,096

平成24年3月期	
年度予想	対前年増減
51,800	4,774
(12,900)	(2,244)
(23,500)	(△ 380)
(15,400)	(2,909)
66,800	△ 13,179
4,500	△ 2,647
5,100	23
15,000	△ 40
1,200	△ 377
9,800	795
800	14
155,000	△ 10,638

〔営業利益〕

	平成23年3月期	平成24年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械部門	△ 1,010	543	1,554
（産業機械）	(△ 324)	(19)	(343)
（開発機械）	(△ 426)	(39)	(466)
（ユニック）	(△ 259)	(484)	(744)
金属部門	746	33	△ 712
電子部門	1,072	△ 99	△ 1,171
化成品部門	184	187	2
塗料部門	△ 39	△ 289	△ 249
不動産部門	526	277	△ 248
燃料部門	△ 39	△ 25	13
その他	△ 71	△ 81	△ 9
（計）	1,367	545	△ 821
調整額	△ 41	△ 44	△ 3
【合計】	1,325	501	△ 824

平成24年3月期	
年度予想	対前年増減
1,620	2,186
(620)	(649)
(300)	(650)
(700)	(886)
△ 150	△ 1,644
△ 250	△ 1,529
250	△ 19
△ 370	△ 276
350	△ 285
0	56
△ 100	△ 7
1,350	△ 1,520
△ 50	0
1,300	△ 1,521